



2020年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年7月29日

上場会社名 田辺三菱製薬株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4508 URL https://www.mt-pharma.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三津家 正之
 問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 高井 善章 TEL 06-6205-5211
 四半期報告書提出予定日 2019年8月5日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	98,112	△6.9	9,751	△49.5	9,622	△50.2	9,206	△53.4	5,611	△57.2
2019年3月期第1四半期	105,351	△2.2	19,304	△12.2	19,304	△8.3	19,741	△10.3	13,110	△20.1

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因による損益（非経常項目）を除いて算出しております。

	親会社の 所有者に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	6,881	△50.7	△854	—	12.27	12.27
2019年3月期第1四半期	13,959	△17.8	20,420	△2.4	24.89	24.89

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	1,045,456	893,945	881,185	84.3	1,571.36		
2019年3月期	1,056,286	910,332	897,604	85.0	1,600.64		

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	28.00	—	28.00	56.00
2020年3月期	—				
2020年3月期（予想）		28.00	—	28.00	56.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
第2四半期（累計）	187,000	△10.8	4,500	△87.0	5,000	△85.5	5,500	△84.2	1,000	△95.7	4,000	△84.0
通期	376,000	△11.5	10,000	△82.1	11,500	△77.1	12,000	△76.2	4,000	△87.6	5,000	△86.6

基本的1株当たり当期利益 第2四半期（累計） 7.13 円 通期 8.92 円

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、添付資料「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 (6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照下さい。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	561,417,916株	2019年3月期	561,417,916株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	640,398株	2019年3月期	640,305株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	560,777,549株	2019年3月期1Q	560,775,557株

(注) 当社は、取締役等に対する業績連動型株式報酬に係る信託を導入しており、当該信託が所有する当社株式(2020年3月期1Q末:208,655株、2019年3月期1Q末:211,100株)は、自己株式に含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料および決算説明会内容の入手方法について)

- ・決算補足説明資料は添付資料「3. 補足資料」として掲載しています。
- ・当社は、2019年7月29日(月)に機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会(電話会議)を開催する予定です。説明内容については、プレゼンテーション資料を本資料発表と同時に、また音声配信を説明会終了後速やかに、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結損益計算書	4
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(重要な後発事象)	11
3. 補足資料	12
(1) 2019年度第1四半期(2019年4月～6月)連結決算について	12
(2) 新製品開発状況について	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年4月1日～6月30日)の連結経営成績は以下のとおりとなりました。

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率
売上収益	105,351	98,112	△7,239	△6.9%
コア営業利益	19,304	9,751	△9,553	△49.5%
営業利益	19,304	9,622	△9,682	△50.2%
税引前四半期利益	19,741	9,206	△10,535	△53.4%
親会社の所有者に帰属 する四半期利益	13,959	6,881	△7,078	△50.7%

【売上収益】

売上収益は、前年同期比△6.9%、72億円減収の981億円となりました。

(単位:百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減	増減率
医薬品事業	105,351	98,112	△7,239	△6.9%
国内医療用医薬品	71,653	78,151	+6,498	+9.1%
海外医療用医薬品	12,948	12,599	△349	△2.7%
ロイヤリティ収入等	18,520	5,054	△13,466	△72.7%
一般用医薬品	1,204	1,296	+92	+7.6%
その他	1,026	1,012	△14	△1.4%

- ・国内医療用医薬品は、関節リウマチなどの治療剤「シンポニー」、2型糖尿病治療剤である3剤「テネリア」、「カナグル」、「カナリア」が順調に伸長したことに加え、2018年12月に投薬制限が解除されたアレルギー性疾患治療剤「ルパフィン」の増収、2018年7月よりヤンセンファーマ株式会社との販売枠組みを変更したクローン病などの治療剤「ステラール」の寄与などにより重点品が伸長し、前年同期比9.1%増収の781億円となりました。
- ・ロイヤリティ収入等は、Novartis Pharma AG(以下「ノバルティス社」)に導出した多発性硬化症治療剤「ジレニア」やJanssen Pharmaceuticals, Inc.に導出した2型糖尿病治療剤「インヴォカナ」および同剤とメトホルミンの合剤に係るロイヤリティ収入の減少などにより前年同期比72.7%減収の50億円となりました。

「ジレニア ロイヤリティ」収入に関しては、2019年2月に、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため「ジレニア ロイヤリティ」の一部について、IFRS第15号に従い売上収益の認識を行わないこととしました。当第1四半期連結累計期間におきましても、仲裁手続きが継続しているため、売上収益の認識を行わない結果、減収となりました。当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。なお、「ジレニア ロイヤリティ」について売上収益の認識を行わない部分につきましては、仲裁最終時に、その結果に応じて一括して収益認識されることとなります。

【コア営業利益(※)・営業利益】

コア営業利益は、前年同期比△49.5%、95億円減益の97億円となりました。

国内重点品は伸長したものの、長期収載品やロイヤリティ収入の減収に加え、前期より引き続き高水準の研究開発費を投じていることから、減益となりました。

営業利益は、前年同期比△50.2%、96億円減益の96億円となりました。

※当社グループは、IFRSの適用にあたり、会社の経常的な収益性を示す段階利益として「コア営業利益」を導入し、経営管理等の重要指標と位置付けております。「コア営業利益」は、営業利益から当社グループが定める非経常的な要因による損益（以下、非経常項目）を除外したものです。非経常項目として、事業譲渡による損益、構造改革費用、製品に係る無形資産の減損損失等を想定しております。

【税引前四半期利益・親会社の所有者に帰属する四半期利益】

税引前四半期利益は、前年同期比△53.4%、105億円減益の92億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比△50.7%、70億円減益の68億円となりました。

【研究開発活動】

当第1四半期連結累計期間における研究開発費は199億円となり、売上収益に対する比率は20.3%となりました。当第1四半期連結累計期間の主な臨床開発活動の進捗状況は、以下のとおりです。

承認取得

- ・当第1四半期連結累計期間での承認取得はありません。

なお、2019年7月、MP-214（カリプラジン／ドパミンD3／D2受容体パーシャルアゴニスト）の統合失調症について、シンガポールで承認を取得しました。

承認申請

- ・2019年4月、MCI-186（エダラボン／米国製品名：ラジカヴァ）のALSについて、中国およびアジアで申請しました。

なお、2019年7月、MT-6548（バダデュスタット／低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤）の腎性貧血について、日本で申請しました。

導出品の状況

- ・2019年4月、MT-4580（エボカルセト／製品名：オルケディア）の副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能亢進症における高カルシウム血症について、導出先の協和キリン株式会社が日本で申請しました。

(2) 財政状態に関する説明

【財政状態計算書】

(単位：百万円)

	前連結会計年度末 (2019年3月末)	当第1四半期 連結会計期間末 (2019年6月末)	増減
非流動資産	467,853	470,785	+2,932
流動資産	588,433	574,671	△13,762
資産合計	1,056,286	1,045,456	△10,830
負債	145,954	151,511	+5,557
資本	910,332	893,945	△16,387
負債及び資本合計	1,056,286	1,045,456	△10,830

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比108億円減少の1兆454億円となりました。前期末からの主な変動要因は以下のとおりです。

- ・非流動資産は、IFRS第16号「リース」の適用に伴う、有形固定資産の増加、製品に係る無形資産の為替変動による減少、国内上場株式の公正価値評価によるその他の金融資産の減少などにより、前期末比29億円増加の4,707億円となりました。
- ・流動資産は、法人所得税や配当金の支払などによる現金及び現金同等物の減少、手元資金の運用に伴うその他の金融資産の減少が、営業債権等の増加を上回り、前期末比137億円減少の5,746億円となりました。

- ・負債は、IFRS第16号「リース」の適用に伴う、その他の金融負債の増加、未払法人所得税の減少等により、前期末比55億円増加の1,515億円となりました。
- ・資本は、四半期利益の計上、在外営業活動体の換算差額の減少、国内上場株式等の金融資産の公正価値評価による減少、剰余金の配当に伴う減少により、前期末比163億円減少の8,939億円となりました。

【キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減
営業キャッシュ・フロー	609	5,243	+4,634
投資キャッシュ・フロー	△7,488	6,775	+14,263
財務キャッシュ・フロー	△14,530	△17,669	△3,139
現金・現金同等物増減額	△20,532	△6,561	+13,971
現金・現金同等物期首残高	127,030	111,850	△15,180
現金・現金同等物四半期末残高	106,498	105,379	△1,119

当第1四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは65億円の支出となり、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は1,053億円となりました。

- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益の計上などの収入要因が、法人所得税の支払などの支出要因を上回り、52億円の収入となりました。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローは、手元資金の運用に伴う収入や設備投資による支出などにより、67億円の収入となりました。
- ・財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、176億円の支出となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月10日に公表した第2四半期(累計)および通期業績予想は変更していません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上収益	105,351	98,112
売上原価	42,350	44,764
売上総利益	63,001	53,348
販売費及び一般管理費	23,188	22,949
研究開発費	19,648	19,930
製品に係る無形資産償却費	734	647
その他の収益	211	252
その他の費用	342	458
持分法による投資利益	4	6
営業利益	19,304	9,622
金融収益	478	418
金融費用	41	834
税引前四半期利益	19,741	9,206
法人所得税	6,631	3,595
四半期利益	13,110	5,611
四半期利益の帰属		
親会社の所有者持分	13,959	6,881
非支配持分	△849	△1,270
四半期利益	13,110	5,611
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	24.89	12.27
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	24.89	12.27

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期利益	13,110	5,611
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動	1,193	△2,258
確定給付制度の再測定	727	587
純損益に振り替えられることのない項目合計	1,920	△1,671
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	5,400	△4,937
持分法適用会社におけるその他の包括利益に 対する持分	△10	143
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	5,390	△4,794
税引後その他の包括利益合計	7,310	△6,465
四半期包括利益	20,420	△854
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者持分	21,203	544
非支配持分	△783	△1,398
四半期包括利益	20,420	△854

(3) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	73,338	83,340
のれん	91,640	91,289
無形資産	206,918	203,190
持分法で会計処理されている投資	16,294	16,149
その他の金融資産	46,245	42,903
退職給付に係る資産	21,474	22,177
その他の非流動資産	257	200
繰延税金資産	11,687	11,537
非流動資産合計	467,853	470,785
流動資産		
棚卸資産	75,559	75,007
営業債権	116,951	119,984
その他の金融資産	271,432	261,009
その他の流動資産	11,011	13,292
現金及び現金同等物	111,850	105,379
小計	586,803	574,671
売却目的で保有する資産	1,630	—
流動資産合計	588,433	574,671
資産合計	1,056,286	1,045,456

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債及び資本		
負債		
非流動負債		
借入金	150	148
その他の金融負債	2,151	8,165
退職給付に係る負債	629	612
引当金	6,975	6,766
その他の非流動負債	5,116	10,871
繰延税金負債	39,234	38,288
非流動負債合計	54,255	64,850
流動負債		
借入金	45	34
営業債務	31,477	33,181
その他の金融負債	27,032	29,923
未払法人所得税	9,576	2,415
引当金	1,638	2,024
その他の流動負債	21,682	19,084
小計	91,450	86,661
売却目的で保有する資産に直接関連する負債	249	—
流動負債合計	91,699	86,661
負債合計	145,954	151,511
資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	451,253	449,993
自己株式	△1,040	△1,040
利益剰余金	387,964	379,732
その他の資本の構成要素	9,427	2,500
親会社の所有者に帰属する持分合計	897,604	881,185
非支配持分	12,728	12,760
資本合計	910,332	893,945
負債及び資本合計	1,056,286	1,045,456

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動
2018年4月1日残高	50,000	451,228	△1,045	382,122	△13,194	13,717
四半期利益	—	—	—	13,959	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	5,334	1,193
四半期包括利益合計	—	—	—	13,959	5,334	1,193
自己株式の取得	—	—	△1	—	—	—
自己株式の処分	—	0	0	—	—	—
配当金	—	—	—	△15,701	—	—
株式報酬取引	—	12	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	727	—	—
所有者による抛及及び所有者への配分合計	—	12	△1	△14,974	—	—
新株の発行	—	—	—	—	—	—
子会社等に対する所有持分の変動額合計	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	12	△1	△14,974	—	—
2018年6月30日残高	50,000	451,240	△1,046	381,107	△7,860	14,910

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	確定給付制度の再測定	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2018年4月1日残高	—	△20	503	882,808	12,019	894,827
四半期利益	—	—	—	13,959	△849	13,110
その他の包括利益	727	△10	7,244	7,244	66	7,310
四半期包括利益合計	727	△10	7,244	21,203	△783	20,420
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
配当金	—	—	—	△15,701	—	△15,701
株式報酬取引	—	—	—	12	—	12
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△727	—	△727	—	—	—
所有者による抛及及び所有者への配分合計	△727	—	△727	△15,690	—	△15,690
新株の発行	—	—	—	—	1,248	1,248
子会社等に対する所有持分の変動額合計	—	—	—	—	1,248	1,248
所有者との取引額合計	△727	—	△727	△15,690	1,248	△14,442
2018年6月30日残高	—	△30	7,020	888,321	12,484	900,805

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				その他の資本の構成要素	
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動
2019年4月1日残高	50,000	451,253	△1,040	387,964	△7,771	17,234
四半期利益	—	—	—	6,881	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△4,809	△2,258
四半期包括利益合計	—	—	—	6,881	△4,809	△2,258
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△15,703	—	—
株式報酬取引	—	3	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	590	—	△3
所有者による抛及及び所有者への配分合計	—	3	△0	△15,113	—	△3
新株の発行	—	—	—	—	—	—
支配の喪失を伴わない子会社に対する所有者持分の変動	—	△1,263	—	—	—	—
子会社等に対する所有持分の変動額合計	—	△1,263	—	—	—	—
所有者との取引額合計	—	△1,260	△0	△15,113	—	△3
2019年6月30日残高	50,000	449,993	△1,040	379,732	△12,580	14,973

(単位: 百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分				非支配持分	資本合計
	確定給付制度の再測定	持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	合計	親会社の所有者に帰属する持分合計		
2019年4月1日残高	—	△36	9,427	897,604	12,728	910,332
四半期利益	—	—	—	6,881	△1,270	5,611
その他の包括利益	587	143	△6,337	△6,337	△128	△6,465
四半期包括利益合計	587	143	△6,337	544	△1,398	△854
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△15,703	—	△15,703
株式報酬取引	—	—	—	3	—	3
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△587	—	△590	—	—	—
所有者による抛及及び所有者への配分合計	△587	—	△590	△15,700	—	△15,700
新株の発行	—	—	—	—	—	—
支配の喪失を伴わない子会社に対する所有者持分の変動	—	—	—	△1,263	1,430	167
子会社等に対する所有持分の変動額合計	—	—	—	△1,263	1,430	167
所有者との取引額合計	△587	—	△590	△16,963	1,430	△15,533
2019年6月30日残高	—	107	2,500	881,185	12,760	893,945

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	19,741	9,206
減価償却費及び償却費	2,897	3,791
受取利息及び受取配当金	△440	△418
持分法による投資損益(△は益)	△4	△6
営業債権の増減額(△は増加)	△600	△3,019
棚卸資産の増減額(△は増加)	6,062	△185
営業債務の増減額(△は減少)	△7,394	2,309
引当金の増減額(△は減少)	669	233
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	24	141
その他	△2,367	2,536
(小計)	18,588	14,588
利息の受取額	132	134
配当金の受取額	288	266
利息の支払額	△41	△49
法人所得税の支払額	△18,358	△9,696
営業活動によるキャッシュ・フロー	609	5,243
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△553	—
定期預金の払戻による収入	3,697	78
有形固定資産の取得による支出	△1,275	△3,557
無形資産の取得による支出	△454	△827
投資の取得による支出	△107,029	△114,609
投資の売却及び償還による収入	98,117	124,758
子会社の売却による収入	—	936
その他	9	△4
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,488	6,775
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△24	△1,943
非支配株主からの払込による収入	1,248	—
配当金の支払額	△15,701	△15,703
その他	△53	△23
財務活動によるキャッシュ・フロー	△14,530	△17,669
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	877	△910
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△20,532	△6,561
売却目的で保有する資産への振替に伴う	—	90
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	—
現金及び現金同等物の期首残高	127,030	111,850
現金及び現金同等物の四半期末残高	106,498	105,379

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。

なお、各四半期における法人所得税費用は、年間の見積実効税率に基づいて算定しております。

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、以下の基準書を適用しております。

IFRS	新設・改訂の概要
IFRS第16号 リース	<p>リースの取り扱いに関する会計処理および開示方法についての改訂を定めたものであります。</p> <p>主に、単一モデルとして、リース期間が12ヶ月を超える全ての借手のリースについて、原則としてその資産の使用権と支払に伴う債務を財務諸表に反映することを求めています。</p>

IFRS第16号を適用することにより、当社グループのリース関連の資産が10,570百万円増加し、同時にリース負債が10,570百万円増加しております。なお、使用権資産は有形固定資産に、リース負債はその他の金融負債（非流動および流動）に含めて表示しております。

IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しておりますが、本基準の適用開始日における累積的影響額はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足資料

(1) 2019年度第1四半期(2019年4月～6月)連結決算について

① 損益状況

(単位: 億円、億円未満切捨て)

	当第1四半期	前年同期比較			予想比較		主なポイント (前年同期比較)
		前第1四半期	増減額	増減率%	上期予想(注1)	進捗率%	
売上収益	981	1,053	△ 72	△ 6.9	1,870	52.5	P13「② 主要製品売上収益」参照
国内	807	741	65	8.9	1,536	52.5	
海外 海外売上比率	173 17.7%	311 29.6%	△ 138	△ 44.4	333 17.8%	52.1	
売上原価 売上原価率	447 45.6%	423 40.2%	24	5.7	875 46.8%	51.2	ロイヤリティ収入の減少等による 売上原価率上昇
売上総利益	533	630	△ 96	△ 15.3	995	53.6	
販管費 販管費比率	229 23.4%	231 22.0%	△ 2	△ 1.0	490 26.2%	46.8	
研究開発費 研究開発費比率	199 20.3%	196 18.7%	2	1.4	445 23.8%	44.8	
製品に係る無形資産 償却費	6	7	△ 0	△ 11.9	13	49.8	
その他損益(注2)	△ 0	△ 1	0	-	△ 2	-	
コア営業利益	97	193	△ 95	△ 49.5	45	216.7	
非経常項目(注2)	△ 1	-	△ 1	-	5	-	
営業利益	96	193	△ 96	△ 50.2	50	192.4	
金融収益	4	4	△ 0	△ 12.6			
金融費用	8	0	7	-			
支払利息	0	0	△ 0	△ 78.9			
為替差損	6	-	6	-			
その他	1	0	1	-			
税引前四半期利益	92	197	△ 105	△ 53.4	55	167.4	
法人所得税	35	66	△ 30	△ 45.8			
四半期利益	56	131	△ 74	△ 57.2	10	561.1	
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	68	139	△ 70	△ 50.7	40	172.0	
総人件費	183	175	8	4.6	384	47.7	

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度業績予想

(注2) 費用・損失の場合に△表示しております。

(単位: 円)

為替レート	当第1四半期 平均レート	前第1四半期 平均レート	2019年度 想定レート
米ドル	109.67	109.53	110.00
カナダドル	82.03	84.22	85.00
ユーロ	122.87	129.01	125.00

* 当第1四半期において、為替レートの変動により、売上収益で約3億円の減収、コア営業利益で約1億円の増益影響がありました。

② 主要製品売上収益

(単位:億円、億円未満切捨て)

	当第1四半期	前年同期比較			予想比較	
		前第1四半期	増減額	増減率%	上期予想(注1)	進捗率%
国内医療用医薬品	781	716	64	9.1	1,475	53.0
レミケード	144	151	△ 6	△ 4.6	269	53.5
シンボニー	105	90	15	16.7	212	49.5
ステララ	61	2	59	-	110	55.8
テネリア	47	44	2	4.8	80	58.1
カナグル	21	14	6	44.4	46	46.2
カナリア	22	14	7	55.7	41	53.2
クレメジン	17	17	0	2.5	43	40.5
レクサプロ	38	34	4	14.1	74	52.6
セレジスト	21	24	△ 3	△ 12.7	45	47.3
ルパフィン	12	1	10	622.5	23	52.6
タリオン	12	14	△ 1	△ 13.4	27	45.0
ワクチン	73	88	△ 15	△ 17.3	144	50.7
インフルエンザ	△ 0	△ 1	0	-	10	-
テトラビック	23	22	1	7.8	49	47.6
水痘ワクチン	12	14	△ 1	△ 8.8	26	48.4
海外医療用医薬品	125	129	△ 3	△ 2.7	241	52.2
ラジカヴァ	61	64	△ 2	△ 4.5	110	55.3
ヘルベッサ	17	16	1	6.4	35	50.4
シンボニー	5	4	0	6.2	10	50.1
アルガトロバン	4	5	△ 0	△ 14.1	8	54.5
タナトリル	3	3	△ 0	△ 1.4	8	42.7
ロイヤリティ収入等	50	185	△ 134	△ 72.7	98	51.5
ジレニア ロイヤリティ(注2)	16	153	△ 137	△ 89.1	非開示	-
インヴォカナ ロイヤリティ	20	24	△ 4	△ 17.6	非開示	-
一般用医薬品	12	12	0	7.6	25	51.8
その他(注3)	10	10	△ 0	△ 1.4	29	34.3
売上収益合計	981	1,053	△ 72	△ 6.9	1,870	52.5

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度業績予想

(注2) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、当第1四半期において、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

(注3) 他社製品の製造受託品等

③ 四半期業績推移(損益計算書)

(単位:億円、億円未満切り捨て)

	2018年度					2019年度		
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	上期予想 (注1)	通期予想 (注1)
売上収益	1,053 24.8%	1,043 24.6%	1,227 28.9%	922 21.7%	4,247 100.0%	981 26.1%	1,870 49.7%	3,760 100.0%
国内	741 24.1%	723 23.5%	899 29.2%	713 23.2%	3,077 100.0%	807 26.2%	1,536 49.8%	3,083 100.0%
海外	311 26.6%	320 27.4%	328 28.1%	209 17.9%	1,170 100.0%	173 25.6%	333 49.2%	676 100.0%
売上原価	423	437	530	414	1,806	447	875	1,785
売上原価率	40.2%	42.0%	43.2%	44.9%	42.5%	45.6%	46.8%	47.5%
売上総利益	630 25.8%	605 24.8%	697 28.6%	508 20.8%	2,441 100.0%	533 27.0%	995 50.4%	1,975 100.0%
販管費	231 23.6%	245 25.0%	254 25.9%	250 25.5%	982 100.0%	229 23.2%	490 49.5%	990 100.0%
研究開発費	196 22.7%	199 23.0%	223 25.8%	246 28.5%	865 100.0%	199 23.3%	445 52.0%	855 100.0%
製品に係る無形 資産償却費	7 25.0%	7 25.0%	7 25.0%	7 25.0%	29 100.0%	6 25.9%	13 52.0%	25 100.0%
その他損益(注2)	△ 1 -	△ 1 -	△ 0 -	△ 1 -	△ 5 -	△ 0 -	△ 2 -	△ 5 -
コア営業利益	193 34.6%	151 27.2%	210 37.7%	2 0.5%	558 100.0%	97 97.5%	45 45.0%	100 100.0%
営業利益	193 38.4%	151 30.2%	219 43.6%	△ 61 △ 12.2%	503 100.0%	96 83.7%	50 43.5%	115 100.0%
税引前(四半期)利益	197 39.1%	150 29.9%	217 43.1%	△ 61 △ 12.1%	504 100.0%	92 76.7%	55 45.8%	120 100.0%
親会社の所有者に帰属 する当期(四半期)利益	139 37.4%	110 29.5%	164 44.1%	△ 40 △ 11.0%	373 100.0%	68 137.6%	40 80.0%	50 100.0%

※ 各項目(売上原価を除く)の下段は進捗率を表示

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度業績予想

(注2) 費用・損失の場合に△表示にしております。

④ 四半期業績推移(主要製品売上収益)

(単位:億円、億円未満切捨て)

	2018年度					2019年度		
	第1四半期 4~6月	第2四半期 7~9月	第3四半期 10~12月	第4四半期 1~3月	通期実績	第1四半期 4~6月	上期予想 (注1)	通期予想 (注1)
国内医療用医薬品	716 24.0%	699 23.4%	876 29.3%	695 23.3%	2,987 100.0%	781 26.2%	1,475 49.5%	2,981 100.0%
レミケード	151 25.7%	148 25.2%	160 27.2%	128 21.9%	588 100.0%	144 27.2%	269 50.8%	531 100.0%
シンボニー	90 24.0%	95 25.4%	102 27.3%	87 23.3%	374 100.0%	105 24.4%	212 49.3%	430 100.0%
ステラール	2 1.4%	45 30.0%	56 37.3%	47 31.3%	152 100.0%	61 28.6%	110 51.2%	216 100.0%
テネリア	44 29.5%	27 18.0%	39 25.8%	40 26.7%	152 100.0%	47 29.2%	80 50.3%	161 100.0%
カナグル	14 22.2%	15 22.9%	19 29.4%	17 25.5%	67 100.0%	21 19.8%	46 42.7%	109 100.0%
カナリア	14 19.1%	16 22.3%	23 31.1%	20 27.5%	74 100.0%	22 28.6%	41 53.8%	76 100.0%
クレメジン	17 25.5%	16 24.9%	18 27.6%	14 22.0%	66 100.0%	17 20.0%	43 49.5%	87 100.0%
レクサプロ	34 24.4%	34 24.4%	38 27.8%	32 23.4%	140 100.0%	38 25.5%	74 48.5%	152 100.0%
セレジスト	24 27.7%	22 24.6%	24 27.4%	18 20.3%	89 100.0%	21 24.5%	45 51.9%	88 100.0%
ルパフィン	1 5.0%	2 6.1%	5 16.7%	24 72.2%	34 100.0%	12 15.9%	23 30.2%	78 100.0%
タリオン	14 22.3%	11 17.9%	15 24.7%	22 35.1%	64 100.0%	12 21.6%	27 47.9%	57 100.0%
ワクチン	88 23.7%	67 18.1%	148 39.9%	68 18.4%	373 100.0%	73 20.2%	144 39.8%	362 100.0%
インフルエンザ	△ 1 △ 1.1%	10 10.6%	85 83.4%	7 7.0%	102 100.0%	△ 0 △ 0.2%	10 9.7%	107 100.0%
テトラビック	22 25.7%	19 23.0%	23 26.9%	20 24.4%	85 100.0%	23 23.6%	49 49.6%	100 100.0%
水痘ワクチン	14 27.7%	12 23.8%	13 25.7%	11 22.9%	51 100.0%	12 24.8%	26 51.2%	51 100.0%
海外医療用医薬品	129 23.5%	145 26.3%	144 26.3%	131 23.9%	551 100.0%	125 25.4%	241 48.6%	496 100.0%
ラジカヴァ	64 23.7%	74 27.7%	67 25.0%	63 23.7%	270 100.0%	61 27.7%	110 50.2%	220 100.0%
ヘルベッサ	16 24.4%	16 23.9%	17 24.9%	18 26.7%	68 100.0%	17 24.7%	35 49.0%	72 100.0%
シンボニー	4 24.2%	5 25.0%	4 24.8%	5 26.1%	20 100.0%	5 24.5%	10 48.9%	20 100.0%
アルゴトロバン	5 29.4%	4 24.5%	5 26.7%	3 19.3%	19 100.0%	4 27.0%	8 49.6%	17 100.0%
タナトリル	3 23.7%	4 30.7%	4 27.1%	2 18.5%	15 100.0%	3 21.7%	8 50.9%	16 100.0%
ロイヤリティ収入等	185 29.3%	177 28.2%	186 29.6%	81 12.9%	631 100.0%	50 26.2%	98 51.0%	192 100.0%
ジレニア	153	145	147	50	497	16	非開示	非開示
ロイヤリティ(注2)	30.9%	29.3%	29.6%	10.2%	100.0%	-	-	-
インヴォカナ	24	24	32	23	105	20	非開示	非開示
ロイヤリティ	23.6%	23.4%	30.5%	22.5%	100.0%	-	-	-
一般用医薬品	12 31.9%	9 26.4%	10 26.8%	5 14.9%	37 100.0%	12 30.0%	25 57.9%	43 100.0%
その他(注3)	10 25.9%	11 28.8%	9 22.9%	8 22.4%	39 100.0%	10 22.0%	29 64.1%	46 100.0%
売上収益合計	1,053 24.8%	1,043 24.6%	1,227 28.9%	922 21.7%	4,247 100.0%	981 26.1%	1,870 49.7%	3,760 100.0%

※ 各項目の下段は進捗率を表示

(注1) 2019年5月10日に公表した2019年度業績予想です。なお、国内医療用医薬品における個別製品の2019年度通期売上予想には、2019年10月の消費増税に伴う薬価改定の影響を織り込んでおりません。

(注2) 当社は、ノバルティス社との間で仲裁手続きに入ったため、当第1四半期において、同社から受け取る「ジレニア ロイヤリティ」のうち、同社が契約の有効性について疑義を提起している部分については、IFRS第15号に従い、売上収益の認識を行っておりません。ノバルティス社との仲裁手続き中は、売上収益の認識を行わないという会計処理を継続します。当該公表金額にかかわらず、当社は、ノバルティス社が契約に従って支払うべきロイヤリティの全額を受領する権利があると主張しており、今後、仲裁において適切にこの権利を追求していきます。

(注3) 他社製品の製造受託品等

(2) 新製品開発状況について(2019年7月25日現在)

① 免疫炎症

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-5547	完全ヒト型抗ヒトNGFモノクローナル抗体製剤 (変形性関節症)	日本 フェーズ 2/3	リジェネロン(米)から導入
MT-1303	スフィンゴシン1リン酸受容体機能的アンタゴニ スト (多発性硬化症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(クローン病)	日本 フェーズ 2	
MT-7117	皮膚科用剤 等 (赤芽球性プロトポルフィリン症)	グローバル フェーズ 2	自社創製品
MT-2990	完全ヒト型抗インターロイキン-33(IL-33)モノ クローナル抗体製剤 (子宮内膜症)	グローバル フェーズ 2	自社創製品
	(季節性アレルギー性鼻炎)	フェーズ 1	

② 糖尿病・腎

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TA-7284 カナグル/インヴォカナ (カナグリフロジン水和物)	SGLT2阻害剤 (2型糖尿病)	アジア 申請	自社創製品
	(糖尿病性腎症)	米国 申請(2019年3月)	ヤンセンファーマシューティカルズ(米) へ導出
MP-513 テネリア (テネリグリブチン臭化水素酸 塩水和物)	DPP-4阻害剤 (2型糖尿病)	日本 フェーズ 3	自社創製品
		アジア 申請	自社創製品
		中国 フェーズ 3	
欧州 フェーズ 2			
MT-6548 (バダデュスタット)	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	日本 申請(2019年7月)	アケビア(米)から導入
MT-3995	選択的ミネラルコルチコイド受容体拮抗剤 (糖尿病性腎症)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
		日本 フェーズ 2	
	(非アルコール性脂肪性肝炎: NASH)	日本 フェーズ 2	

※ アジア: 日本・中国を除く

③ 中枢神経

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MCI-186 ラジカト/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS)	中国 申請(2019年4月)	自社創製品
		アジア 申請	
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	アジア 申請	ゲデオンヒター(ハンガリー)から導入
MT-210	セロニン2A / シグマ2 受容体拮抗剤 (統合失調症)	米国、欧州 フェーズ 3	ミネルバ・ニューロサイエンス(米) へ導出
MT-5199	小胞モノアミントランスポーター2阻害剤 (遅発性ジスキネジア)	日本 フェーズ 2/3	ニューロクラインバイオサイエンス(米) から導入
MT-8554	TRPM8遮断剤 (糖尿病性末梢神経障害に伴う疼痛)	欧州 フェーズ 2	自社創製品
	(更年期に伴う血管運動神経症状)	グローバル フェーズ 2	
ND0612 (レボドパ/カルビドパ)	持続皮下注投与ポンプ/パッチ製剤 (パーキンソン病)	グローバル フェーズ 2	自社創製品
ND0701 (アボモルフィン)	持続皮下注投与ポンプ (パーキンソン病)	フェーズ 1	自社創製品
MT-1186 (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS/経口懸濁剤)	フェーズ 1	自社創製品
MT-6345	神経系用剤	フェーズ 1	宇部興産(日)と共同開発
MT-3921	抗RGMa抗体 (脊髄損傷)	フェーズ 1	大阪大学(日)と共同開発

④ ワクチン

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
MT-2355	5種混合ワクチン (小児における百日せき、ジフテリア、破傷風、 急性灰白髄炎およびHib感染の予防)	日本 フェーズ 3	阪大微生物病研究会(日)と共同開発
MT-2271	植物由来VLPワクチン (季節性インフルエンザの予防/成人)	米国、欧州 フェーズ 3	メディカゴ(カナダ)品
	(季節性インフルエンザの予防/高齢者)	米国、欧州 フェーズ 3	
MT-8972	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H5N1]の予防)	カナダ フェーズ 2	メディカゴ(カナダ)品
MT-7529	植物由来VLPワクチン (インフルエンザ[H7N9]の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品
MT-5625	植物由来VLPワクチン (ロタウイルス胃腸炎の予防)	フェーズ 1	メディカゴ(カナダ)品

※ アジア:日本・中国を除く

⑤ その他

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	地域 開発段階	起源/導出先等
TAU-284 タリオン (ペボタスチンベシル酸塩)	選択的ヒスタミンH1受容体拮抗・アレルギー 性疾患治療剤 (アレルギー性鼻炎、蕁麻疹)	アジア 申請	宇部興産(日)から導入
MT-4580 オルケディア (エボカルセト)	カルシウム受容体作動剤 (副甲状腺がんおよび原発性副甲状腺機能 亢進症における高カルシウム血症)	日本 申請(2019年4月)	協和キリン(日)へ導出
MT-4129	循環器官用剤 等	フェーズ 1	自社創製品

※ アジア:日本・中国を除く

2018年度決算発表からの変更点

治験コード 製品名 (一般名)	薬剤分類 (予定適応症など)	前回発表	2019年7月25日 現在	起源/導出先等
MP-214 (カリブラジン塩酸塩)	ドパミンD3/D2受容体パーシャルアゴニスト (統合失調症)	アジア 申請	シンガポール 承認(2019年7月)	ゲデオンリヒター(ハンガ リー)から導入
MT-6548 (バダデュスタット)	低酸素誘導因子プロリン水酸化酵素阻害剤 (腎性貧血)	日本 フェーズ 3	日本 申請(2019年7月)	アケビア(米)から導入
MT-3921	抗RGMa抗体 (脊髄損傷)	記載なし	フェーズ 1	大阪大学(日)と共同開 発
MCI-186 ラジカット/ラジカヴァ (エダラボン)	フリーラジカル消去剤 (筋萎縮性側索硬化症: ALS)	欧州 申請(2018年5月)	削除 (申請取り下げ)	自社創製品

※ アジア: 日本・中国を除く